学　年	教科等	単元名	日　時
第１学年	生活科	しゃぼんだま大さくせん！	令和５年 10 月 16 日（月）５校時

研究主題	自律的に学ぶ子どもの育成
研究内容１の手立て	「『遊び』ながら学ぶ指導計画・指導過程の工夫」では、思い描いたシャボン玉を飛ばすための道具をつくったり、遊びを創り出したりする活動を行う際に、前単元「夏遊び大作戦」と同じように、自由に遊んだときの気付きを遊びに発展させて活動を進めることで、見通しをもったり、経験を生かしたりすることができるようにする。 特に本時では、身近にある物を用いて、前時に思い描いたシャボン玉や遊びに必要な道具をつくる活動を行うことで、成功する喜びを友達に伝えたり、失敗したときに見つめ直したり友達に助けを求めたりすることができるようにする。
研究内容２の手立て	「『遊び』と『学び』をつなげるふりかえりの在り方」では、タブレット型端末を用いて写真や動画の撮影を行わせ、試行錯誤の跡が残るようにすることで、ふりかえりの際に見返し、自分や友達のつくったものや遊びの変容に気付くことができるようにする。 特に本時では、道具をつくっている様子を動画で撮影させたり、できあがった道具を写真で撮影させたりする。その際、言葉でも説明をさせることで、自覚していなかったことを自覚させたり、それぞれの気付きを伝え合って共有したりして、気付きの質を高めることができるようにする。

○　子どもの姿からの報告

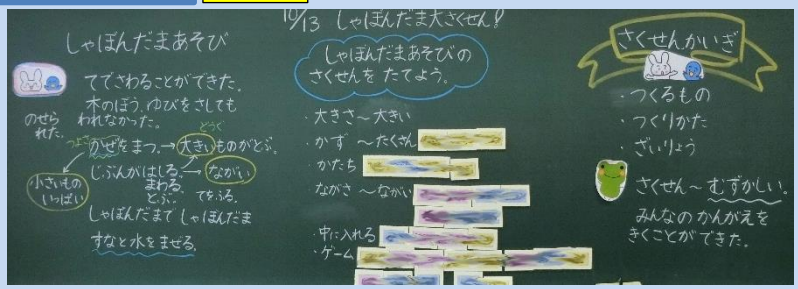
第１時は……

研究内容１との関連

前単元「お手伝い大作戦」で靴下の洗濯をした際に泡で遊ぶ姿が見られたことから、本単元では、シャボン玉遊びをすることにした。
モール１本で自由に遊ばせることで、「もっと工夫して遊びたい」「もっと長く遊びたい」という思いや願いをもたせることができた。

第２時は……

研究内容１との関連



前時をふりかえり、これからつくってみたいシャボン玉や、やってみたい遊びについて話し合い、グループを編成した。同じ思いや願いをもった友達と話し合わせたことで、今後の計画を具体的に立てることができた。

本時は･･･

研究内容１との関連

飛ばしたいシャボン玉や、やってみたい遊びについて尋ねたことで、一人一人が思いを明確にし、本時の活動のゴールを意識して活動を行うことができた。

研究内容１との関連

様々な材料を準備し、必要なものを選んで試すことができるようにしたことで、自分で判断して行動したり、身近にある物を使ったりすることができた。

研究内容１との関連

研究内容２との関連

研究内容２との関連

研究内容２との関連

かたちをつくろうとしたらずっとまるでおもしろかったです。

道具をつくっている様子を動画で撮影させたり、できあがった道具を写真で撮影させたりしたことで、自分の活動をふりかえることができた。思いや願いを実現しようと、材料を選び直してつくり直す姿も見られた。
また、同じ目的をもった友達と意見を交わしながらつくることができた。

研究内容２との関連

意見を交流する場を設けたことで、自分の思いを確かにしたり、友達と自分の意見の違いやよさに気付いたり、相手の意見を尊重したりすることができた。

研究内容２との関連

新たに必要となった材料や調べたいことを尋ねたことで、自分の活動をふりかえり、次時に必要な物を考えることができた。

○　考察

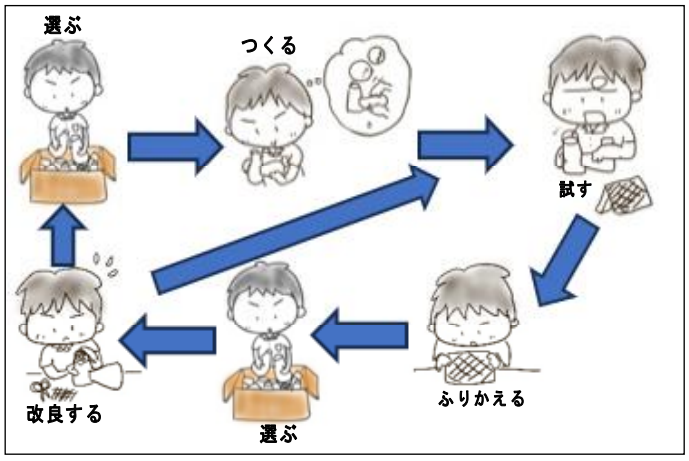
- 身近にある物を使った製作活動を初めて行ったため、前時に抱いた思いや願いの実現よりも、試してみたいという気持ちが強くなってしまった。子どもの思いや願いにそった指導計画を立てる必要がある。
- 活動に夢中になっていると、途中で自らふりかえりをすることは難しいため、時間を設定した方がよい。
- 多くを求めすぎると焦点がぼやけてしまうため、本時の目標に迫る手立てやふりかえりの場を精選する必要がある。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）
miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

○　本時の目標

飛ばしてみたいしゃぼん玉や遊びをつくるために必要な材料を選んだり遊びに使う物をつくったりすることができる。

○　指導過程

学習活動及び学習内容（★は評価にかかわるもの）	「自律的に学ぶ」ための手立て
1　本時学習について話し合う。 ○　前時の写真の提示 ○　本時のめあて お気に入りのシャボン玉アイテムをつくろう。	○　飛ばしたいシャボン玉ややってみたい遊びについて尋ね、一人一人の思いを明確にさせることで、本時の活動のゴールを意識して活動を行うことができるようにする。
2　学習への見通しをもつ。 ○　これまでの活動のふりかえり ○　活動の流れの確認 **ゴール** ○　お気に入りのしゃぼん玉や遊びをつくる。 **ルール** ○　道具をつくったら試す。 ○　試した結果を報告する。 ○　何回でも実験可。 **活動の流れ** ①　個人 グループ ②　ふりかえり ③　全体	○　これまでに行った「色水作り」「水鉄砲遊び」において試行錯誤しながら活動を成功させたことを想起させることで、本時の活動の見通しをもつことができるようにする。
3　道具をつくりながら試す。（★） ○　材料の選択 ○　道具の製作 ○　試しの遊び  	○　無作為に材料を準備し、必要なものを選んで試すことができるようにすることで、確かめたり見直したりして、自分で判断して行動することができるようにする。 ○　道具をつくっている様子を動画で撮影させたり、できあがった道具を写真で撮影させたりする。その際、言葉でも説明をさせることで、無自覚だった気付きを自覚したり、その気付きを表出したり、伝え合って共有したりして、気付きの質を高めることができるようにする。 ○　活動の途中に、成功した方法や失敗した方法について気付いたことや新たに浮かんだ疑問を伝えさせることで、情報を共有し、友達と遊びを創る喜びを感じることができるようにする。
4　気付いたことを話し合う。 水鉄砲のときみたいにしたら、シャボン玉はできたけど、飛ばなかったよ。どうしたらよいのかな。○○さんは、何をつくったの。 針金を曲げて、ハートの形をつくったけど、私も失敗してしまったよ。でも、成功させたいから、今度は、毛糸を巻いてみようと思うよ。 □□さんの道具は、押し方を変えたらどうかな。勢いが足りないのかもしれないよ。	○　意見を交流する場を設けることで、自分の思いを確かにしたり、友達と自分の意見の違いやよさに気付いたり、相手の意見を尊重したりすることができるようにする。
5　本時学習についてふりかえり、新たな思いや願いをもつ。 ○　次時の活動への新たな思いや願い おうちに使わない毛糸があったから、次のときは、持ってきて、試してみよう。 	○　新たに必要となった材料や調べたいことを尋ねることで、自分の活動をふりかえらせ、次時の活動に向けて材料を探したり、よりよい方法を調べたりすることができるようにする。

○　本時の評価規準

飛ばしてみたいシャボン玉や遊びに必要な道具について、予想したり、確かめたり、見直したりしながら、材料を選んだり遊びに使う物をつくったりしている。（思考・判断・表現）【行動観察・行動分析】